

温泉分析書

源泉名	上砂川岳温泉パンケの湯						
源泉湧出地	北海道空知郡上砂川町字西山43番4						
調査年月日	平成21年9月3日						
泉温及び湧出量	11.4℃(気温：22.5℃)、130ℓ/分(自然湧出)						
分析終了年月日	平成21年9月14日						
調査及び試験者	財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター						
試料1kg中の成分	分量及び組成						
(イ) 陽イオン	ミリグラム mg	ミリバル mval	ミリバル% mval%	(ロ) 陰イオン	ミリグラム mg	ミリバル mval	ミリバル% mval%
ナトリウムイオン	261.3	11.37	81.27	フッ素イオン	0.2	0.01	0.07
カリウムイオン	3.9	0.10	0.71	塩素イオン	38.7	1.09	7.71
マグネシウムイオン	7.6	0.63	4.50	硫化水素イオン	0.0	0.00	0.00
カルシウムイオン	37.7	1.88	13.44	チオ硫酸イオン	0.0	0.00	0.00
第一鉄イオン	0.3	0.01	0.07	硫酸イオン	7.4	0.15	1.06
第二鉄イオン	0.0	0.00	0.00	炭酸水素イオン	785.7	12.88	91.15
				炭酸イオン	0.0	0.00	0.00
陽イオン計	310.8	13.99	100.0	陰イオン計	832.0	14.13	100.0
(ハ) 遊離成分							
非解離成分	ミリグラム mg	ミリモル mmol		溶存ガス成分	ミリグラム mg	ミリモル mmol	
メタ珪酸	10.2	0.13		遊離二酸化炭素	41.6	0.95	
メタ硼酸	8.2	0.19		遊離硫化炭素	0.0	0.00	
非解離成分計	18.4	0.32		溶存ガス成分計	41.6	0.95	
溶存物質(ガス性のものを除く)							1.161 g/kg
成分総計							1.203 g/kg
(ニ) その他微量成分	アンモニウムイオン：0.07mg/ℓ、マンガンイオン：0.030mg/ℓ、リン酸イオン：0.07mg/ℓ 銅イオン：0.002mg/ℓ、亜鉛イオン：0.003mg/ℓ、総ヒ素：0.001mg/ℓ アルミニウム、カドミウム、鉛及び総水銀は検出せず						

平成21年9月29日

財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター

温泉分析書 別表

1	温泉分析申請者	北海道空知郡上砂川町 上砂川町長
2	泉質	ナトリウム-炭酸水素塩冷鉱泉(中性低張性冷鉱泉)
3	療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりであります。	
浴用	禁忌症	急性疾患(特に熱のある場合)、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、活動性の結核、高度の貧血 その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)
	適応症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、冷え性、疲労回復、慢性消化器病 痔疾、病後回復期、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病

平成21年10月1日

決定者 北海道立衛生研究所長

その他附記事項

大浴槽	適温(40℃)に加温し、循環・ろ過しております。 源泉を塩素消毒(レジオネラ菌等の発生防止)し、使用しております。
水風呂	源泉を塩素消毒し、循環・ろ過しております。(水温11.4℃) 水道水を使用する場合があります。
ジャグジー(泡風呂)	水道水を使用しております。 適温(39℃)に加温し、循環・ろ過しております。
その他	この温泉は飲用できません。 入浴剤等は一切使用していません。

浴用の一般的注意事項(入浴の方法及び注意)

(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。
(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。
(3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。
(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。
(5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高湯浴(42℃)を禁忌とする。
(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。
(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。
(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。